

仙台市国民健康保険 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画） 中間評価報告書【概要版】（素案） 令和3年1月

仙台市国民健康保険では、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（厚生労働大臣告示）」に基づき、平成30年3月、平成30年度から令和5年度を計画期間とする「第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）」を策定しました。令和2年度が計画期間の中間年となることから、より効果的・効率的な保健事業を推進していくため、中間評価として、診療報酬明細書（レセプト）データ、特定健康診査データ等の現状分析及び目標の達成状況の確認を行い、保健事業計画の見直しを行いました。

～中間評価時点での目標の達成状況と評価～

全体の目標（目指すところ）

生活習慣病の重症化予防と医療費の適正化^(※)



※「増加抑制」としていたが、「適正化」に文言修正

●中長期的目標の評価指標及び目標の達成状況

中長期的目標	評価指標	目標値(H35)	ベースライン(H29)	H30	R1	R2	評価
脳血管疾患・虚血性心疾患有病者の減少	脳血管疾患有病者割合	低下(H29比)	4.7%	4.5%	4.5%	4.1%	A
	虚血性心疾患有病者割合	低下(H29比)	5.5%	5.4%	5.4%	5.0%	B
糖尿病腎症による新規透析導入者の減少	糖尿病腎症による新規透析導入者数	低下(H29比)	64人	58人	60人	60人	B
高血圧症・糖尿病・脂質異常症有病者の減少	高血圧症有病者割合	低下(H29比)	28.1%	27.9%	28.4%	27.1%	B
	糖尿病有病者割合	低下(H29比)	15.5%	15.6%	16.0%	15.2%	B
	脂質異常症有病者割合	低下(H29比)	25.5%	25.3%	26.0%	24.6%	B
中長期的目標	評価指標	目標値(H35)	ベースライン(H28)	H29	H30	R1	評価
血圧(収縮期)・血糖・LDL有所見者の減少	収縮期血圧有所見者割合	低下(H28比)	44.3%	44.7%	43.2%	42.9%	B
	HbA1c 有所見者割合	低下(H28比)	61.7%	63.0%	66.7%	62.6%	B
	LDL 有所見者割合	低下(H28比)	47.3%	49.2%	49.0%	47.2%	B
メタボリックシンドローム該当者と予備群者の減少	メタボリックシンドローム該当者割合	19.0%	20.1%	20.9%	21.8%	21.6%	B
	メタボリックシンドローム予備群者割合	9.4%	10.6%	10.7%	10.6%	10.9%	B
特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の上昇	特定健康診査受診率	60.0%	47.0%	47.4%	48.6%	49.0%	B
	特定保健指導実施率	60.0%	8.7%	9.4%	10.1%	8.8%	B

【判定基準】 A:10%以上の改善又は目標達成 B:変わらない C:10%以上の悪化の3段階で評価

計画策定時に明らかになった5つの課題 ～中間評価時点での状況及び保健事業の評価と見直し～

課題① 健診を受診しておらず、自分の健康状態を把握できていない人が多くいます。

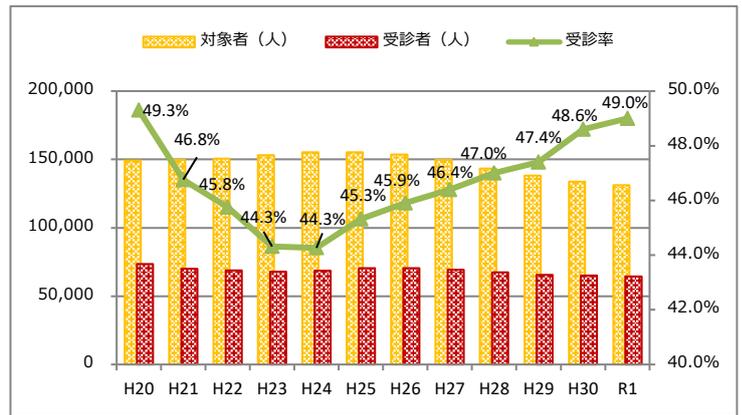
【計画策定時の状況】

- ・ 特定健康診査の受診率…47.0%(平成 28 年度)
 <最も低い年齢階層> 男性…40～44 歳 18.4%
 女性…40～44 歳 23.9%
- ・ 毎年 (5 年連続) 受診している人…21.5%
- ・ 健診未受診者のうち、生活習慣病のレセプトがない者…53,623 人(35.2%)

【中間評価時点での状況】

- ・ 特定健康診査の受診率…49.0% (令和元年度)
 <最も低い年齢階層> 男性…40～44 歳 18.6%
 女性…45～49 歳 26.2%
- ・ 毎年 (5 年連続) 受診している人…21.3%
- ・ 健診未受診者のうち、生活習慣病のレセプトがない者…47,697 人 (33.9%)

● 特定健康診査受診率の経年推移



資料：特定健康診査・特定保健指導実施結果総括表（法定報告）

事業名	事業の目的及び概要	評価指標(短期目標)	ベースライン	中間値 (R1)	目標値 (R1)	評価と見直し
特定健康診査	【目的】生活習慣病予防 重症化予防 【概要】個別健診の実施	・ 特定健康診査受診率の上昇	47.0% (H28)	49.0%	52.0%	B 特定健診受診率は 49.0%と微増傾向にあるが、目標値には達していない。40 歳及び前年度未受診者の受診率も目標値に達していないことから、未受診理由を確認した上での効果的な勧奨を行う必要がある。今後も医師会等関係機関との連携を強化しながら、更なる啓発や積極的な受診勧奨を展開する必要がある。
特定健康診査受診勧奨	【目的】特定健康診査受診率の向上 【概要】リーフレット・ハガキ送付・電話による受診勧奨	・ 40 歳の受診率の上昇	22.5% (H29)	20.6%	23.0%	B
		・ 前年度未受診者の当年度受診率の上昇	31.5% (H29)	34.1%	32.0%	A
		・ 初回受診率の上昇	3.0% (H29)	3.2%	4.0%	B

- 【対策の方向性】** ・ 特定健康診査の啓発や未受診理由を確認した上での効果的な受診勧奨
 ・ 40～50 歳台への継続受診の必要性についての啓発強化

課題② メタボリックシンドローム該当者が多いものの、特定保健指導を利用していない人が多くいます。

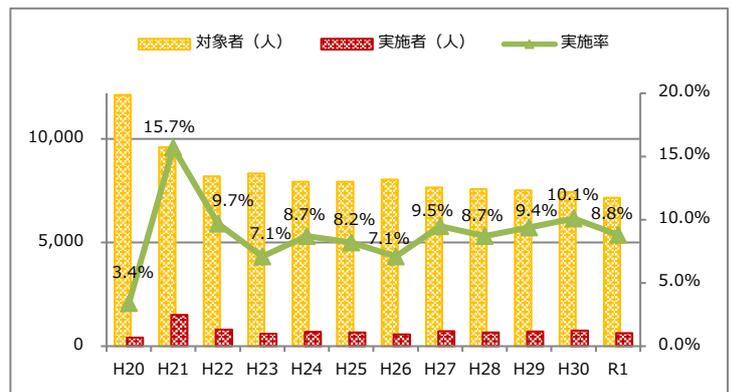
【計画策定時の状況】 (平成 28 年度)

- ・ メタボリックシンドローム該当者割合…20.0% (40 歳台からの該当者割合の急増)
- ・ 血糖、血圧、脂質のすべてにリスクがある人の割合 …7.2% (政令市より 2.2%、全国より 1.9%高い)
- ・ 特定保健指導の終了率…8.7%

【中間評価時点での状況】 (令和元年度)

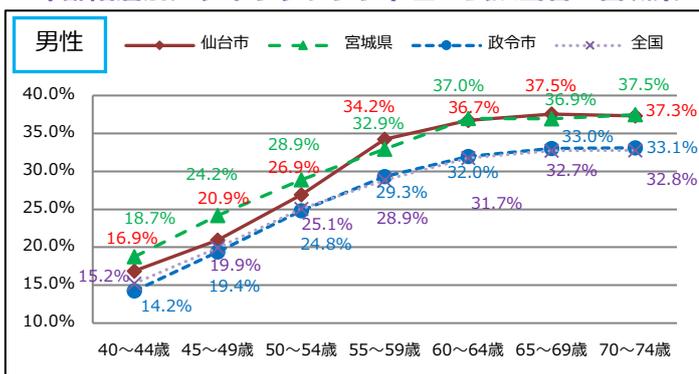
- ・ メタボリックシンドローム該当者割合…21.6% (40 歳台からの該当者割合の急増)
- ・ 血糖、血圧、脂質のすべてにリスクがある人の割合 …8.1% (政令市より 2.2%、全国より 1.9%高い)
- ・ 特定保健指導の終了率…8.8%

● 特定保健指導実施率の経年推移

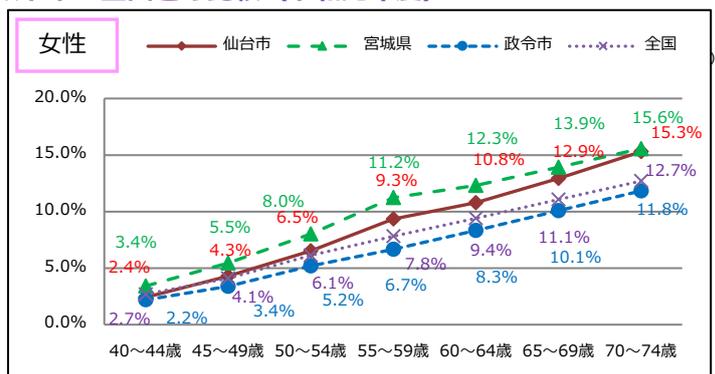


資料：特定健康診査・特定保健指導実施結果総括表（法定報告）

● 年齢階層別メタボリックシンドローム該当者 宮城県・政令市・全国との比較 (令和元年度)



資料：国保データベース



資料：国保データベース

事業名	事業の目的及び概要	評価指標(短期目標)	ベースライン	中間値 (R1)	目標値 (R1)	評価と見直し	
特定保健指導 (動機付け支援)	【目的】メタボリックシンドローム予備群者の減少 【概要】医療機関にて個別面接による指導と3か月後の評価	・動機付け支援終了率の上昇	9.5% (H28)	9.6%	20.0%	B	動機付け支援終了率は9.6%となっており、目標値に達していない。医師会と連携しながら、制度の周知及び啓発に努めるとともに、医療機関で実施しやすい環境づくり(指導帳票の見直し等)、実施率向上のための方策を検討していく必要がある。
		・メタボリックシンドローム予備群者割合の低下	10.6% (H28)	10.9%	10.2%	B	
特定保健指導 (積極的支援)	【目的】メタボリックシンドローム該当者の減少 【概要】委託事業者にて3か月以上の継続的な支援と3~6か月後の評価	・積極的支援終了率の上昇	6.0% (H28)	5.9%	20.0%	B	積極的支援終了率は5.9%となっており、目標値に達していない。利用者を増やすため、制度の周知方法や勧奨方法(勧奨機会を増やす等)を検討する必要がある。また、委託事業者と連携しながら、プログラム内容の検討を行う必要がある。
		・メタボリックシンドローム該当者割合の低下	20.1% (H28)	21.6%	19.8%	B	

- 【対策の方向性】**
- ・特定保健指導の啓発強化や未利用者への利用勧奨
 - ・プログラム内容の見直し
(令和3年度より、動機付け支援指導帳票の見直し)
 - ・40歳台からのメタボリックシンドローム啓発

中間評価を踏まえ、特定保健指導(動機付け・積極的支援)終了率の目標値を見直します。

	R3	R4	R5
目標値	15.0%	20.0%	30.0%
見直し前	40.0%	50.0%	60.0%

課題③ 血糖、血圧、脂質の有所見者が多く、適切な治療を行っていない人がいます。

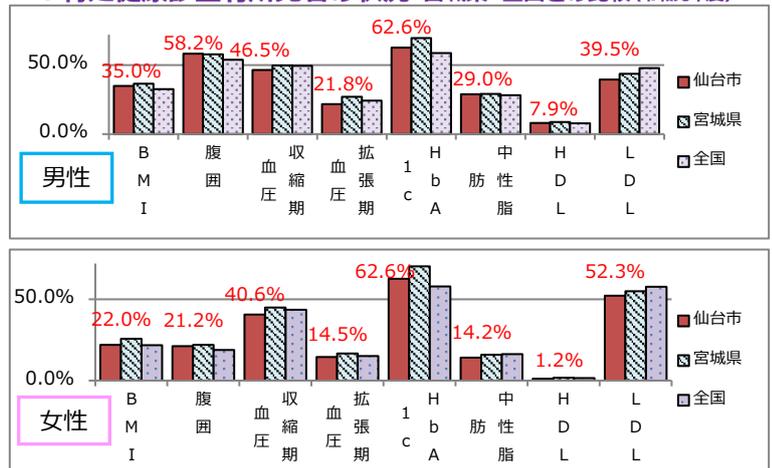
【計画策定時の状況】 (平成28年度)

- ・有所見者割合…HbA1c 男性 61.8% 女性 61.7%
(全国より男性が6.1%、女性が6.5%高い)
- 収縮期血圧 男性 48.4% 女性 41.7%
- LDL コレステロール 男性 40.3% 女性 52.0%
- ・要医療判定値以上の者で治療を受けていない者
(血圧…6,476人 HbA1c…760人 LDL…10,137人)

【中間評価時点での状況】 (令和元年度)

- ・有所見者割合…HbA1c 男性 62.6% 女性 62.6%
(全国より男性が3.9%、女性が4.8%高い)
- 収縮期血圧 男性 46.5% 女性 40.6%
- LDL コレステロール 男性 39.5% 女性 52.3%
- ・要医療判定値以上の者で治療を受けていない者
(血圧…5,972人 HbA1c…669人 LDL…9,948人)

● 特定健康診査有所見者の状況 宮城県・全国との比較(令和元年度)



資料：国保データベース

課題④ 生活習慣病での受診者が多く、生活習慣病の医療費が医療費総額の約1/4を占めています。

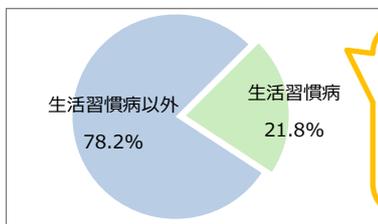
【計画策定時の状況】 (平成28年度)

- ・60歳台半ばで約半数が生活習慣病で受診(平成28年5月)
- 男性は高血圧症、女性は高血圧症と脂質異常症が多い
- ・生活習慣病での医療費…15,485,927,728円
医療費全体の24.2% 1位 腎不全…(24.2%)
2位 高血圧性疾患(22.8%) 3位 糖尿病(19.4%)

【中間評価時点での状況】 (令和元年度)

- ・60歳台半ばで約半数が生活習慣病で受診(令和2年5月)
- 男性は高血圧症、女性は高血圧症と脂質異常症が多い
- ・生活習慣病での医療費…13,601,302,129円
医療費全体の21.8% 1位 腎不全…(26.4%)
2位 糖尿病(22.3%) 3位 高血圧性疾患(18.7%)

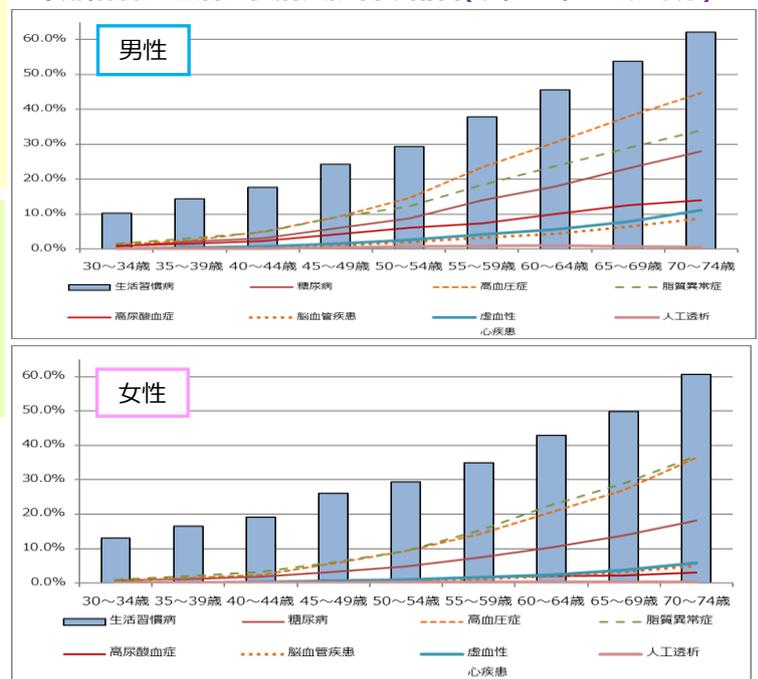
● 医療費総額に占める生活習慣病の医療費(令和元年度)



生活習慣病の医療費が医療費全体の21.8%を占めています。(平成28年度24.2%より減少)

資料：レセプトデータ

● 年齢階層別生活習慣病受診者の割合(令和2年5月診療分)



資料：国保データベース

●生活習慣病の医療費、患者数、一人当たり医療費の状況

	令和元年度			平成28年度			令和元年度		平成28年度		令和元年度		平成28年度	
	医療費(円)	構成比(%)	順位	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	順位	患者数(人)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
腎不全	3,597,016,449	26.4%	1	3,746,207,358	24.2%	1	5,389	7	5,350	7	667,474	1	700,226	1
糖尿病	3,031,222,178	22.3%	2	3,011,380,050	19.4%	3	51,103	2	51,709	2	59,316	6	58,237	6
高血圧性疾患	2,542,522,890	18.7%	3	3,523,965,572	22.8%	2	59,512	1	63,545	1	42,723	7	55,456	7
脂質異常症	1,744,975,027	12.8%	4	2,068,727,029	13.4%	4	49,136	3	51,492	3	35,513	8	40,176	8
虚血性心疾患	1,182,750,858	8.7%	5	1,615,797,571	10.4%	5	17,013	4	18,870	4	69,520	5	85,628	4
脳梗塞	886,399,350	6.5%	6	867,194,880	5.6%	6	9,615	5	11,640	5	92,189	4	74,501	5
脳内出血	312,609,962	2.3%	7	348,148,201	2.2%	7	2,065	8	1,909	8	151,385	3	182,372	2
動脈硬化(症)	185,943,693	1.4%	8	186,436,164	1.2%	8	9,264	6	10,570	6	20,072	9	17,638	10
くも膜下出血	114,875,781	0.8%	9	112,645,210	0.7%	9	627	9	824	9	183,215	2	136,705	3
脳動脈硬化(症)	2,985,941	0.02%	10	5,425,693	0.04%	10	251	10	225	10	11,896	10	24,114	9
生活習慣病合計	13,601,302,129	-	-	15,485,927,728	-	-	92,122	-	98,499	-	147,644	-	157,219	-
生活習慣病以外	48,863,731,661	-	-	48,528,780,322	-	-								
医療費総額	62,465,033,790	-	-	64,014,708,050	-	-								

資料：レセプトデータ

課題⑤ 新規透析導入者が増加傾向にあり、年間の医療費も高額となっています。

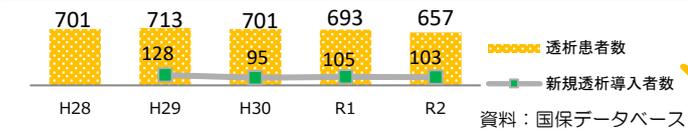
【計画策定時の状況】（平成29年5月）

- 人工透析を行っている者…713人
(60.9%がⅡ型糖尿病を起因とした糖尿病腎症が要因) (H28)
- 透析患者の一人当たり医療費(年間)…約550万円
- 新規透析導入者128人のうちの50%が糖尿病有病者

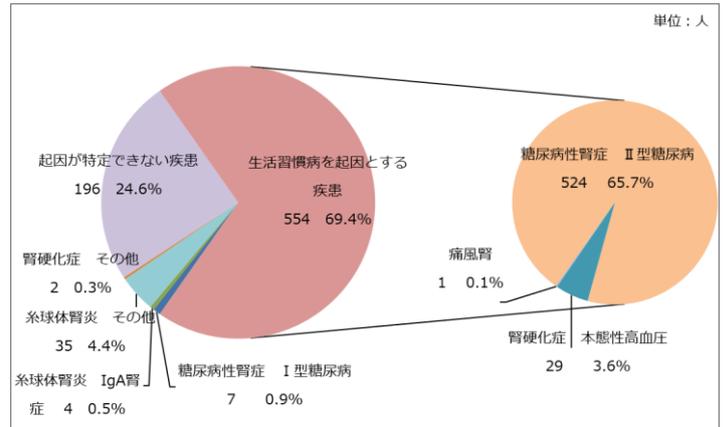
【中間評価時点での状況】（令和2年5月）

- 人工透析を行っている者…657人
(65.7%がⅡ型糖尿病を起因とした糖尿病腎症が要因) (R1)
- 透析患者の一人当たり医療費(年間)…約550万円
- 新規透析導入者103人のうちの58.3%が糖尿病有病者

●透析患者数と新規透析導入者数（各年5月診療分で前年と比較）



●透析患者の起因（令和元年度）



一人当たり年間医療費は約550万円

事業名	事業の目的及び概要	評価指標(短期目標)	ベースライン	中間値 (R1)	目標値 (R1)	評価と見直し
検査値高値者の医療機関受診勧奨	【目的】 疾病の重症化予防 【概要】 リフレット送付及び電話、訪問による受診勧奨	受診勧奨者の医療機関受診率の上昇	52.3% (H28)	66.1%	53.0%	A
		受診勧奨者かつ翌年度の特定健康診査受診者に占める検査値改善率の上昇	62.9% (H29)	●%* (H30) 65.3%	65.0%	A
糖尿病腎症重症化予防 (H29開始) ※R1～治療中断者の受診勧奨を開始	【目的】 糖尿病腎症の重症化予防 【概要】 受診確認票送付及び訪問、電話、面接による受診勧奨	糖尿病未治療者の医療機関受診率の上昇	85.8% (H29)	71.4%	70.0%	A
		受診勧奨者かつ翌年度の特定健康診査受診者に占めるHbA1c改善率の上昇	67.5% (H29)	●%* (H30) 47.9%	41.0%	A
		糖尿病治療中断者の特定健診及び医療機関受診率【新規】	-	49.3%	-	-

*暫定的に平成30年度の数値で評価しています。最終的には令和元年度の数値で改めて評価いたします。

- 【対策の方向性】
- 糖尿病、高血圧症、脂質異常症の予防啓発及び重症化予防対策（医療機関受診勧奨）
 - 若いうちから適切な生活習慣を身に付けられるよう啓発強化
 - 糖尿病の予防啓発及び糖尿病腎症の重症化対策（未治療者及び治療中断者受診勧奨）

事業名	事業の目的及び概要	評価
市民健診助成	【目的】 市民健診受診による健康の保持増進 【概要】 市民健診費用の一部助成	いずれも計画どおり実施できていることから、引き続き取組を進めていく。
健康情報発信	【目的】 情報発信、健康意識の向上 【概要】 各区役所・総合支所での啓発 医療費通知に保健情報掲載 納付済額のお知らせに保健情報掲載	
医療費通知	【目的】 健康意識の醸成 【概要】 医療費通知送付 年2回	
ジェネリック医薬品差額通知	【目的】 医療費の削減 【概要】 ジェネリック医薬品差額通知送付 年2回	
重複服薬	【目的】 重複服薬の予防による健康維持・増進 【概要】 通知、リーフレット送付	

被保険者の健康増進及び医療費の適正化に向け、中間評価により見直した保健事業計画に基づき、今後も取組を行っていきます。